

平成 29 年 11 月 2 日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

UD (ユニバーサルデザイン) タクシー
の普及促進に向けての要望書について

一般社団法人北海道ハイヤー協会

会 長 今 井 一 彦

臨港昭和交通株式会社

代表取締役社長 山澤 巖雄

北海交通株式会社

代表取締役社長 米子 典良

東興交通株式会社

代表取締役社長 三好 安司

苫小牧観光ハイヤー株式会社

代表取締役社長 酒井 文仁

平素より、ハイヤー・タクシー業界に対しまして、公共交通としての責務の遂行、福祉・環境に優しい制度の充実などのために絶大なご支援を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

また、前回（平成 29 年 2 月 22 日）のご要望に続き、この度のご要望の機会を賜り誠にありがたく御礼申し上げます。

前回のご要望でも述べさせて頂きましたが、ハイヤー・タクシー事業者の大部分は、経営基盤の脆弱な中小零細企業であり、マイカーの普及や景気低迷の長期化がもたらした輸送需要の減少などにより、極めて厳しい経営環境にあります。

そんな中、高齢者・障がい者、外国人等の利便性の向上や社会ニーズに応じた施策が求められており、国策としましても「UD タクシー」の導入促進は大きな課題であります。

そこで今回、その一助として、平成 29 年度の国庫補助が自治体との協調補助を条件に交付されることとなりました。

苫小牧市は、新千歳空港にも近く、フェリーや RORO 船

の入港する重要国際港湾や日本最大の石油備蓄基地、自然豊かなウトナイ湖などを擁する北海道の経済・観光発展になく
てはならない国際都市であります。「ラグビーW杯」「東京
五輪・パラリンピック」の開催で、より一層関係者、観光客
が訪れるものと思います。

ハイタク業界として、グローバル社会への対応も含め、
UD タクシーの導入促進は、重要な課題であります。

つきましては、下記につきまして、今後の予算執行、予算
編成にあたってご支援賜りたくお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 環境・福祉に優しい UD タクシーの導入促進のため、
協調補助の実現を強く要望いたします。

以 上